

# グラフィカルな表現法による複雑現象の理解

## 第1回勉強会

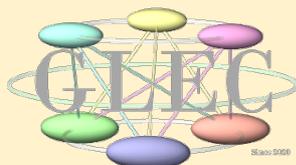
科学技術に関するコミュニケーションにおいて、グラフィクスは非常に強力なツールの一つです。グラフィクスは、文字や数字だけでは表現が難しい知識や概念の理解を容易にするものであり、大量のデータを扱うデータサイエンスの分野や、自然科学、人文科学、社会科学を問わず、複雑な現象を理解するために欠くことのできないものとなっています。しかし、グラフィクスの利用法や作成方法は、高等学校までの教育システムでは体系的に指導されておらず、多くの人が直感的な理解で利用しているのが現状であり、しばしば正しくコミュニケーションが取れない場合があります。社会が高度に進化し、複雑化している現代にとってグラフィクスリテラシーは非常に重要なものとなっています。

そこでグラフィクスリテラシー教育研究センターでは、勉強会「グラフィカルな表現法による複雑現象の理解」を立ち上げ、定期的に遠隔セミナーを開催し、社会の中に散在する複雑現象の理解に対するグラフィクスの有効性について議論をしていきます。第1回目は東京工業大学の松本秀行先生にご登壇いただき、化学プロセスにおける動的かつ複雑な現象の理解と応用のためのグラフィカルな表現法を用いたシステムズアプローチについてお話していただきます。

1. 日時： 12月1日（火）17:00 ~ 18:30
2. 講演：「離散事象システムモデルを用いた化学プロセス・ダイナミクスの表現」
3. 講演者：松本秀行先生（東京工業大学物質理工学院応用化学系 准教授）
4. 参加費：無料
5. Zoom URL: 申込された方に直接お知らせいたします。

申込：問い合わせ先に、メール(タイトルは「第1回勉強会」として下さい)で、お名前、ご所属、メールアドレスをお送り下さい。

問い合わせ先：eng-glec@research.kobe-u.ac.jp



主催：神戸大学大学院工学研究科グラフィックスリテラシー教育研究センター  
共催：(公社)化学工学会 SIS 部会ダイナミックプロセス応用分科会  
日本図学会関西支部